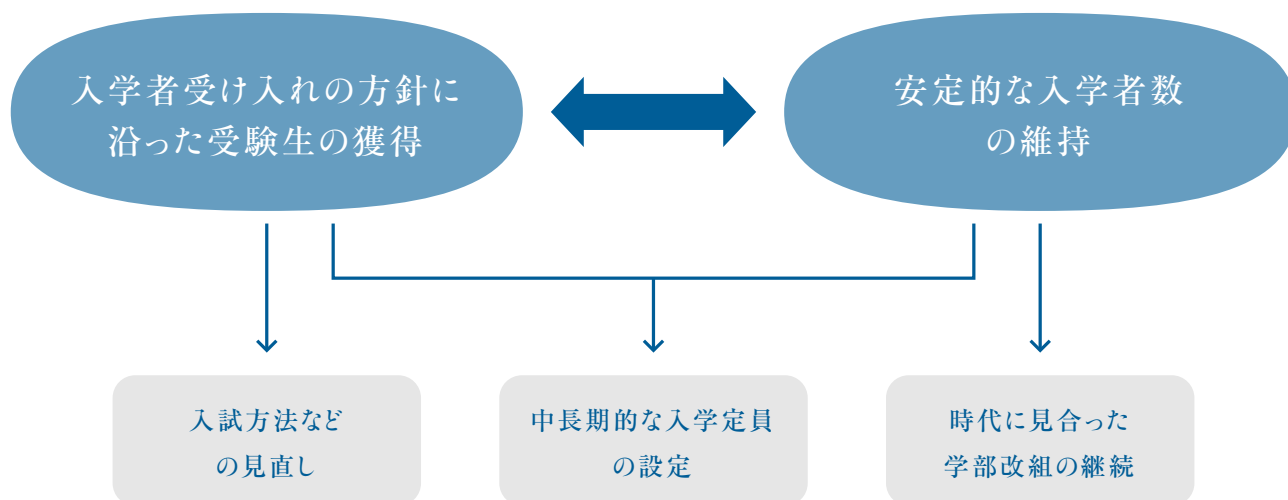


Ⅶ 学生の受け入れ

「学生の受け入れ」の基本方針

入学者受け入れの方針に基づく適切な入学者選抜を行う。さらに、学部別入学者受け入れの方針に沿った多様な入試制度も検討していく。

一方、学生の受け入れは、大学経営に直結する課題でもあるため、安定的な入学者数の維持と入学者受け入れの方針に沿った学生を確保することを両立させていく。このため、入学定員の見直しを進めるとともに、時代に見合った学部改組を継続していく。



推進事項1

入学者受け入れの方針に沿った受験生を獲得するための入試方法などを見直し

本学では全問マークシート方式やセンター試験利用方式3、4、5科目型の導入、入試日程変更、ネット出願など、さまざまな方法を用いて入学者受け入れの方針に沿った受験生を確保してきた。しかし、学部別入学者受け入れの方針を具現化するきめ細やかな入試制度を導入しているとは言い難い。

入学者受け入れの方針に沿った受験生獲得のための入試方法を継続的に見直すとともに、今後は入試方法以外の施策の充実も図り、受験生獲得に活かしていく。

施策

- ①リーダーシップが発揮できるなど、社会で活躍できる資質を持った人材を選抜する入試制度の検討
- ②公立高校を対象とした高大連携の模索
- ③入試成績優秀者給付奨学金制度の見直し
- ④附属高校・併設高校推薦入試の見直し

推進事項2

入学者受け入れの方針に沿った受験生を獲得するための 中長期的な入学定員の設定

本学は、これまで社会的需要や受験生の動向に対応して入学定員を決めてきた。しかし、競争が激化するなか、入学者受け入れの方針に沿った学生を引き続き確保できるかが課題となる分野も想定される。

これまで以上に外部環境に留意しながら、中長期的な観点で学部・学科の入学定員を見直していく。

施策

- ①中長期的(5年～10年)な社会的ニーズおよび高校生の志望動向の調査
- ②中長期的(5年～10年)な入学定員の見直し

推進事項3

時代に見合った学部改組の継続

本学では、2000年以降、心理学部、国際英語学部、文学部、現代社会学部、国際教養学部、総合政策学部、スポーツ科学部、工学部など毎年のように学部改組を行ってきた。しかし、他大学も同様な改革を行っており、今後、学生募集は経営上の課題になっていくと思われる。

学部改組には調査から企画・学内調整・届出まで約3年かかることから、これまで以上に計画的かつ組織的に、時代に見合った学部改組に取り組んでいく。

施策

- ①高校生の志望動向や社会的ニーズを見据えた長期的な(10年前後)既存分野での学部改組計画の検討
- ②本学にない新分野の検討

